

チャイルドシートを使用しないとこんなに危険！

- ▶チャイルドシートを使用していない子どもは、正しく使用している子どもに比べて、事故時の致死率が**約11.1倍**も高くなっています

引用：警察庁自動車同乗中(6歳未満幼児)のチャイルドシート使用有無別致死率比較(平成27年～令和元年合計)

- ▶シートベルトでは、衝突時にベルトをすり抜けて車の天井に頭をぶついたり、ベルトが首に引っかかったりする危険があります
- ▶車が時速40キロで衝突した場合、その車に乗っている子どもは体重の30倍もの力で投げ出されるので、抱っこでは支えきれません

チャイルドシートを正しく使用して
子どもの命を守りましょう



反射材をつけて交通事故から身を守りましょう

夜、車の運転者から歩行者が見える距離



10月～12月は、年末に向けて交通死亡事故が多発する傾向にあります。

死亡重傷者数が最も多い時間帯は**午後4時から午後8時**です。

夕暮れ時や夜間に外出するときには、運転者から確認しやすいよう

明るい服装や反射材用品を着用しましょう。

反射材は、ライトに照らされると100m先でもピカッと光って自分の存在をアピールすることができます。積極的に活用して事故防止に努めましょう！

